

# すずかけ

No.85  
2018

すみだ女性センター

**特集**

## 男女共同参画について 考えてみませんか？

～墨田区男女共同参画に  
関する調査より～

**巻頭インタビュー**

タレント・映画コメンテーター

**LiLiCo** さん ..... 2



**特集**

## 男女共同参画について 考えてみませんか？

～墨田区男女共同参画に関する調査より～

過去と現在をみる ..... 4

性別役割分担意識

男女共同参画推進施策に対する要望

男女共同参画検定にチャレンジ! ..... 6

すみだに暮らす・働く外国人に聞きました  
ロコミ! 比較文化論 ..... 8

イクメン・カジダン投稿写真 ..... 9

すずかけ インフォメーション ..... 10

**こんにちは すみださん**

フウガドールすみだレディース

**杉山 藍子** さん ..... 12



タレント・映画コメンテーター

# LiLiCoさん

考えていることはどんどん言葉にしてみる。

やりたいことを実現するためには、

一に努力、二に努力、三に勇気です。



子ども時代や来日した時のことを教えてください。

昔は小柄で内気な子どもでした。でもその頃から「歌手になる」と確信していて、将来必要になると思い、コーラス、英語、デザインを頑張っていました。夢を実現するための努力は惜しまなかったです。父も「あなたの人生はあなたのもの。自由だけと責任を取るのもあなた」という考え方。そういう面で甘やかされずに育って良かったです。

日本で歌手になりたいと思っただけは、日本に住んでいる祖母が送ってくれたアイドル雑誌。そこには私の夢が詰まっていました。それに日本にはカラオケ、歌番組の流れるテレビ、フリフリの衣装などスウェーデンにはないものがたくさん。それらに憧れ、18歳で来日しました。ブレイクまでの日々はハードでしたが、やりたいとは思わなかった。私は毎日、歌を歌って生きていたかったからです。

## profile LiLiCo

スウェーデンのストックホルム出身。映画コメンテーターとして活躍する他、映画俳優へのインタビュー、ナレーション、声優、雑誌エッセイ執筆、プロレスラー、ジュエリーデザイン、北欧雑貨の輸入販売など、マルチタレントとして幅広く活動している。平成30年4月に結婚を発表。夫は歌謡グループ「純烈」メンバーで俳優の小田井涼平。

仕事をする上で心がけていることはありますか？

「こんなことをやりたい」という思いをどんどん発信しています。私は映画コメンテーターのほか、ラジオ、プロレスラー、ジュエリーのデザインなど多くのお仕事をしています。言葉にすることで自分と他の人のアイデアが刺激し合

い、良いものが生まれた経験が多々あります。やりたいうことを実現するには、一に努力、二に努力、三に勇気です。勇気を出して思いを口にしなければ。あと時間の使い方も大切。限られた時間を有効に使えるよう、効率化をはかっています。

## 様々な経験を持つLeelee Co.さんにとって、映画とは？

9歳下の弟がいるのですが、幼い頃は重いアレルギーとぜんそくの症状がありました。両親は離婚しており、母は機械設計士として働きながら私と弟を育てていました。病弱な息子を抱えて異国の地で働く母は大変だったと思います。今でこそ母が置かれていた状況の厳しさや彼女の不安を想像できませんが、当時は辛く当たられていると感じ、母を好きになれませんでした。また、私は毎日、弟の世話や家事で多忙な生活を送っていました。映画鑑

賞はそんな中、唯一現実逃避できる時間だったのです。

映画は人生のいろいろな局面でヒントを与えてくれるもの。誰でも大失恋したり悩むことがあるでしょ？映画はそんな時、世の中には多種多様な人がいることを教えてくれる。だから、映画を通して視野が広がります。打開策が見つかりしめます。とても変わった設定の映画でも、そこから得られるものがある。私は様々な立場の人に「そういう時は、こんな映画が良いですよ！」とオススメする「映画ソムリエ」として作品の魅力を伝えていきたいです。

## 家族観や結婚生活について教えてください。

母が亡くなったのは6年ほど前。わかり合える前に他界してしまい残念です。母との確執を語ったら「お母さんのことを悪く言うなんて」という意見がたくさ

ん返ってきてしまいました。一方で「私も母との関係に悩んでいて…」という方々もいることがわかりました。世の中にはいろいろな背景の人がいて、それは声をあげることで初めて見えるようになる。映画がそれを表現することもありません。経験を積んだ今では母の心境を理解できるし、母への尊敬の念もあります。

母は子どもに無条件でこのづかいを渡すのではなく、働いた分の対価としてお金を渡すようにしていました。なので私は、その月に行っただお手伝いをメモしておき、月末にそれを母に渡していました。私は母から「お金は働いて得るもの」という大切なことを学びました。

結婚生活は…おかげ様でとても幸せです。共働きですが、実は家事の担当はほとんど私。地方での仕事が多く移動疲れでぐったりして帰ってくる夫を、温かく家に迎えてあげたいと思っています。夫も私に気づかいをしてくれていて、私た

ちにとってはこれが心地よいバランスです。今は家族が増えて本当に嬉しいですね。彼の実家でもみんな私たちの結婚を祝福してくれました。この間の母の日は、お義母さんのところでステーキを振る舞いました。「こんなことしてくれたら、来年のハードル上がっちゃうよ〜」なんて言われちゃいましたけど(笑)。

実の父は再婚しましたが、彼女は最高のママ。誰かに私のことを尋ねられた時「彼女は私の娘ですよ」とためらいなく笑顔で言ってくれます。スウェーデンでは、再婚で新たにお母さんとなった方を「ボーンママ」と呼びます。家

族が増えることをポジティブに捉えた素敵な言葉ですよ。病弱だった弟も今では父親になりました。姪っ子が生まれた時は私も駆けつけました。あの日は本当に幸せだったなあ。自分たちの子どもについては…私も夫も子どもが欲しいと思っています。家族が増える喜びを知り、「この人の子どもを産みたい」という気持ちが強くなりました。年齢のこともありますが授かるかどうかわかりませんが、たまに「こうのとりのさーん！」と呼んでみたり…。これからのいろいろな仕事にトライしながら、家族と過ごす時間を大切にしていきたいです。



# 男女共同参画について考えてみませんか？

## ～墨田区男女共同参画に関する調査より～

### 過去と現在をみる

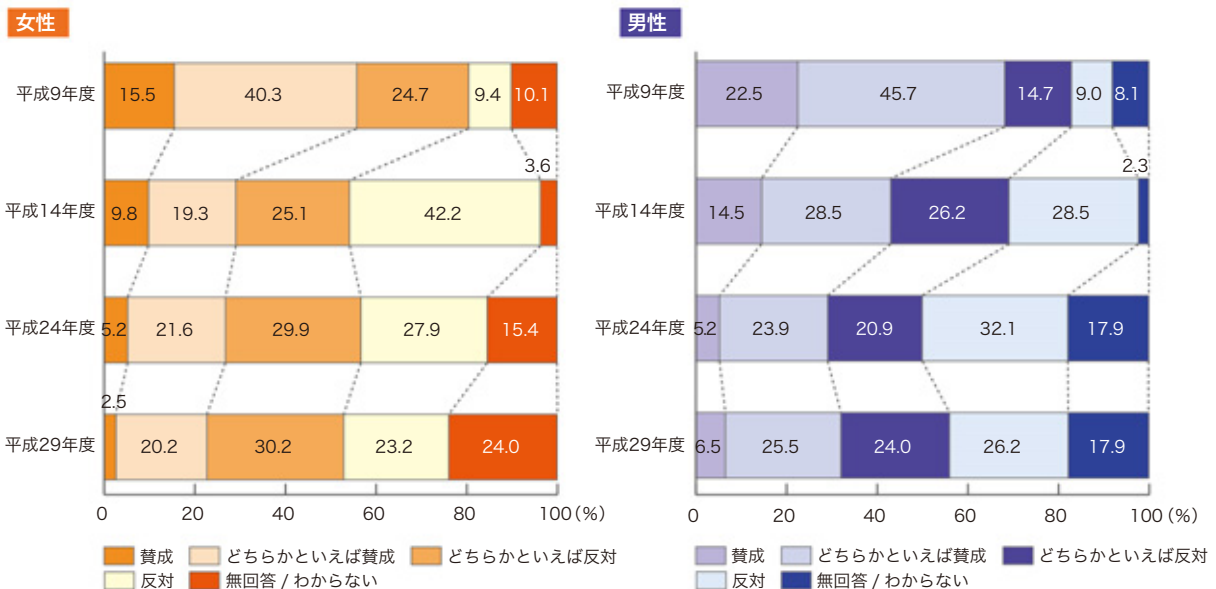
墨田区では、平成11年3月(1999年)に「墨田区男女平等推進プラン(平成16年3月改定時から墨田区男女共同参画推進プランと改称)」を策定し、以降5年ごとに社会情勢や区の現状に即したものとするため、プランの改定を行っています。現行の第4次プランが平成26年度から平成30年度までの計画であることから、平成31年度以降の新プラン策定のため、区民を対象に男女共同参画に関する調査(以下「調査」という。)を実施し、3月に「墨田区男女共同参画に関する調査結果報告書」を発行しました。

最初の調査(平成9年度)から20年が経過しました。この20年間で区民の意識にはどのような変化がみられるでしょうか。たくさんの質問項目の中から、今回は「性別役割分担意識の変遷」と「男女共同参画社会を実現するために区に望むこと」の2項目を取り上げ、意識の変遷と現状を考えてみたいと思います。

### 性別役割分担意識(性別で役割を固定化する考え方)の変遷

問 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方について、どう思いますか。

(○は1つだけ)



平成19年度はこの設問が無いため、掲載していません。

平成9年度の調査では、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成派は女性が55・8%、男性が68・2%でした。「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた反対派は女性が34・1%、男性が23・7%でした。どちらも賛成派が多いことが分かりました。

平成14年度は平成9年度とは逆に、賛成派が女性・男性とも少なく、反対派は女性・男性とも多くなりました。専業主婦世帯と共働き世帯の推移のグラフによりますと、平成4年に専業主婦世帯と共働き世帯の数が以前と逆転して、共働き世帯の数が専業主婦世帯を初めて上回りました。そうした時代背景の変化が反映していると考えられます。墨田区でも、平成18年4月に「墨田区女性と男性の共同参画基本条例」を施行しました。それによると施策においては「仕事と家庭等の両立支援」に重点を置くことと述べられています。

平成24年度と、平成29年度になると女性も男性も反対派が賛成派を大きく上回るようになりました。

一方、平成29年度では、女性の「反対」がわずかに減少し、「わからない」が増加しています。このことは、女性のおかれた様々な現状を反映しているのではないのでしょうか。

## 男女共同参画推進施策に対する要望

問 男女共同参画社会を実現するために、今後、区がどのようなことに力をいれるとよいと思いますか。  
(○は3つまで)

### 平成9年度 ランキング上位

	女性	男性
ホームヘルパー派遣などの在宅介護事業の充実	1	1
特別養護老人ホームなどの福祉施設の整備	2	2
病児保育、夜間保育などを含む保育事業の充実	3	3

### 平成14年度 ランキング上位

	女性	男性
高齢者や病人の在宅介護サービスや施設の充実	1	3
育児・保育施設の充実	2	2
学校で平等意識を育てる教育の充実	3	1

平成9年度及び平成14年度ランキングについては、平成19年度～平成29年度ランキングと選択肢の内容が異なるため、上位3項目のみを掲載しています。

### 平成19年度～平成29年度 ランキング

	平成19年度		平成24年度		平成29年度	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性
育児・保育施設の充実	1	1	1	1	1	1
高齢者、障害者や病人の在宅介護サービスや施設の充実 *1	2	2	2	2	2	3
就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ	3	3	4	6	3	6
あらゆる分野における女性の積極的な登用	4	5	3	4	5	5
健康づくりのための検診体制や相談体制の充実	5	6	7	8	8	7
学校で男女共同参画についての教育の充実	6	4	6	3	4	2
女性の職業教育・訓練の機会の充実	7	8	5	7	7	8
男女共同参画に関する情報提供や学習機会の充実 *2	8	7	8	5	6	4
男女共同参画に関する施策の国・都への働きかけ	9	9	10	9 *4	9	10
政策決定・意思決定への女性の参画促進	10	10 *3	9	11	10	9
男女共同参画の視点に立った相談事業の充実	11	10 *3	11	9 *4	11	11
男女共同参画に関する国際的な交流・情報収集の促進	12	12	12	12	12	12

\*1 平成19年度の選択肢は「高齢者や病人の在宅介護サービスや施設の充実」

\*3 同率(8.0%)で10位

\*2 平成19・24年度の選択肢は「男女平等に関する情報提供や学習機会の充実」

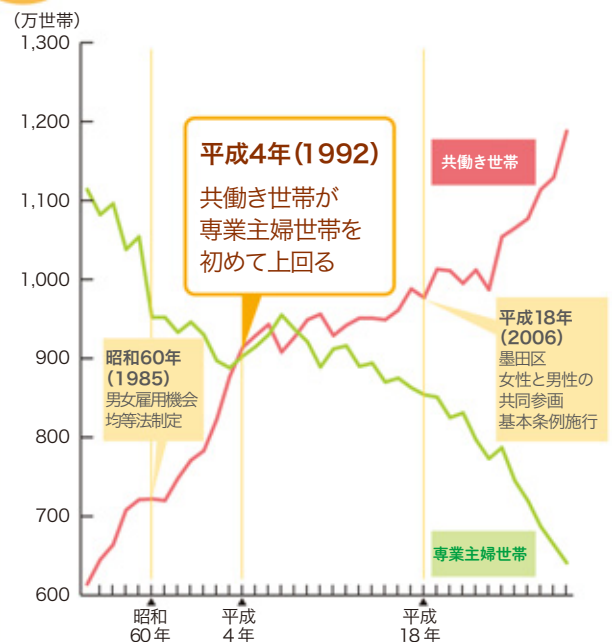
\*4 同率(10.9%)で9位

男女共同参画推進施策に対する要望についての結果を男女別に見ていきます。平成9年度から平成29年度の20年間にかけ、男女共に育児や保育、高齢者などに関する施設やサービスの充実が上位に入っています。その他、女性では「就労機会や労働条件の男女格差を是正するための働きかけ」が、男性では「学校で男女共同参画についての教育の充実」が上位に入る傾向があります。女性で労働に関する項目が上位に入るのは、就職、昇進や給与をはじめとする待遇などにおける男女

格差を、男性よりも自分自身の経験などから実感することがあるからではないでしょうか。また、育児・高齢者福祉、労働問題といった生活の基盤に関する項目への要望が高い結果が見られます。一方、「政策決定への女性の参画促進」「男女共同参画に関する情報提供や国・都へのはたらきかけ」などの項目について、男女共下位におかれる傾向があります。これらのことから、あらゆる分野での男女共同参画推進がまだまだ必要であると考えられます。

## Topic

### 専業主婦世帯と共働き世帯の推移



出典：総務省「労働力調査」

# 男女共同参画検定に

チャレンジ!

男女共同参画社会ってどんな社会なの？すみだ女性センターってどんなところ？  
今回の調査をもとにした問題にチャレンジしてみよう!!

以下の問に、○×で答えましょう

解答欄

- |      |   |                          |
|------|---|--------------------------|
| Q 1  | 「男女共同参画社会」とは、女性を優遇する社会のことである。                                 | <input type="checkbox"/> |
| Q 2  | 墨田区には「墨田区男性と女性の共同参画基本条例」がある。                                  | <input type="checkbox"/> |
| Q 3  | 女性の働き方について、「子育ての時期だけ一時やめて、その後は、<br>また職業を持つ方がよい」と考える人の割合が一番多い。 | <input type="checkbox"/> |
| Q 4  | 派遣やパートも含めた共働きは、回答者全体の60%を超える。                                 | <input type="checkbox"/> |
| Q 5  | ワーク・ライフ・バランスとは、仕事を減らして生活を楽しむことである。                            | <input type="checkbox"/> |
| Q 6  | ワーク・ライフ・バランスの実現には、長時間労働の削減が必要である。                             | <input type="checkbox"/> |
| Q 7  | セクシュアル・ハラスメントは、異性間に限らず同性間で行われることもある。                          | <input type="checkbox"/> |
| Q 8  | セクシュアル・ハラスメントは、自分が我慢すれば済むと思えば<br>我慢した方がよい。                    | <input type="checkbox"/> |
| Q 9  | 「すみだ女性センター」は、区役所内にある。   | <input type="checkbox"/> |
| Q 10 | 「すみだ女性センター」の愛称は「すずかけ」という。                                     | <input type="checkbox"/> |

## 男女共同参画編

Q 1

Q 2



あなたは「男女共同参画社会」がどんな社会なのかご存じでしょうか？

「女性のみを優遇する社会」とイメージされる方も少なくないようですが、それは誤解です。「男女共同参画社会」とは、「男は仕事・女は家庭」「女らしく・男らしく」などといった、役割や生き方を性別で決めつけず、一人ひとりが自分らしく生きられる社会、すべての人が互いの人権を尊重し、責任を分かち合い協力し合う社会をいいます。

今回の調査で「各分野の男女の地位について感じていること」をたずねたところ、全体として現在の日本では「女性が優遇されている」は4.1%、「男性が優遇されている」は73.6%、「平等である」は10.9%という結果がでました。

墨田区では、あえて条例を「墨田区女性と男性の共同参画基本条例」という名称にしています。

だれもが生きやすい社会を実現するためにどうしたらよいか、自分の意識や考えを見直してみることが必要かもしれません。

## 仕事とワーク・ライフ・バランス編

Q3 ~ Q6



女性の就労について、今回の調査で初めて「結婚・出産に関わらず、ずっと職業をもつ方がよい」が全体で44.1%となり、2位の「子育ての時期だけ一時やめて、その後は、また職業をもつ方がよい」の33.3%を抜いて1位となりました。

また、派遣やパートも含めた共働き世帯は、全体の61.1%となり、ますます仕事と生活の調和は重要となってきました。

ワーク・ライフ・バランスの希望と現実には、大きな差が認められました。希望では、「仕事、

家庭生活、個人の生活すべて」が30.8%で1位ですが、現実には「仕事を優先」が38.9%で1位となっています。ワーク・ライフ・バランスの実現に必要なことでは、「短時間勤務や在宅勤務など柔軟な働き方を整備する」「長時間労働を削減する」「職場や上司の理解・協力」「保育・介護の施設やサービスを充実する」が上位に入っています。ライフステージに応じた多様なライフスタイルを選択・実現できるようにするためには、人々の意識と社会の改革が必須です。

## セクシュアル・ハラスメント編

Q7 Q8



セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)は、性的嫌がらせや相手の望まない性的言動すべてを指します。

日本では、1980年代半ばから使われるようになりました。平成元年(1989年)には、新語・流行語大賞の新語部門で金賞を受賞しています。その後、様々な事例が増えるなかで日本語として定着しました。

今回の調査で、不愉快な経験は男性が2割半ば

に対し、女性は4割と女性の方が不愉快な経験を多くしています。また、圧倒的に多い「特にない」ですが、その数字を真に受け止めていいのでしょうか。我慢や泣き寝入りは、加害者の温床を広げるだけです。勇気を持って被害を訴えることが、セクハラのない環境を作る第一歩になります。

無意識のうちに相手に不快な思いをさせないためには、想像力が求められます。

## すみだ女性センター編

Q9 Q10



平成2年(1990年)押上に開館した「すみだ女性センター」は、男女問わず利用できる施設です。区内に多い街路樹「すずかけ」のように、幅広く親しまれる施設となるよう「すずかけ」という愛

称が名づけられました。

センターでは、男女共同参画推進のための講座・講演の開催や男女共同参画情報誌「すずかけ」を年2回発行しています。

### さて、あなたのスキルは？

- |   |                     |
|---|---------------------|
| A1 × お互いを尊重する社会。                                  | A5 × 仕事と生活の調和を図ること。 |
| A2 × 墨田区では平成18年4月に「墨田区女性と男性の共同参画基本条例」を施行しています。    | A6 ○ 必要なことのひとつ。     |
| A3 × 今回初めて「結婚・出産に関わらず、ずっと職業をもつ方がよい」が44.1%で1位になった。 | A7 ○                |
| A4 ○ パート等も含めた共働きは、61.1%。                          | A8 × 声をあげる必要がある。    |
|   | A9 × 押上             |
|   | A10 ○               |

いかがでしたか？  
正解が少なかった人も大丈夫。  
これから一緒に  
学んでいきましょう！



エチオピア連邦民主共和国  
エフレム・ハイレさん  
Mr. Ephrem Haile



エチオピアのノースウォロ出身のエフレムさん。平成16年に、お兄さんの仕事を手伝うために来日しました。現在は、オイルの再利用化事業を展開する会社に勤務しています。エチオピア料理のレストランを営む妻と、保育園に通う娘(5歳)と3人で暮らしており、仕事に子育てに多忙な毎日を送っています。



アメリカ合衆国  
アレン・アレクサンドリア・ローズさん  
Ms. Allen Alexandria Rose



アメリカのシアトル出身のアレンさん。日本文化にひかれて平成22年来日し、日本で結婚・出産しました。現在はシングルマザーとして、2人の男の子(6歳と2歳)を育てています。最近バイクの免許を取得して、ツーリングの計画をたてているそうです。

すみだに暮らす・働く  
外国人に聞きました

# ココミ! 比較文化論

アメリカ出身のアレンさんと、エチオピア出身のエフレムさん。おふたりとも日本での生活が長く、日本の文化や習慣に関する知識がとても豊富!  
この連載では、それぞれのお国事情から見えてくる文化の違いなどを紹介していきたいと思います。

取材協力：ひらがなネット株式会社

Q 墨田区での暮らしはどうですか?

エフレムさん: 墨田区

はエチオピア人が多く、僕の住居・職場や妻が切り盛りするレストラン、娘の保育園も墨田区内にあり、生活する上でとても便利です。実は僕は来日した時、エチオピア人と日本人が集まり、交流する機会を作る活動をしていました。それが実を結んで、今ではそこが、仕事を紹介したり、困ったことを相談できるような場所に成長しました。そんな「コミュニティ」があることも、住みやすさにつながっています。

アレンさん: 来日してから、大阪府や千葉県などにも住んでいたのですが、友人に勧められたのがきっかけで、墨田区で暮らし始めました。2年ほど住んでいます。便利で人が多すぎず、住み心地がとても良いです。

Q おふたりの国の教育制度や子育てについて教えてください。

アレンさん: アメリカでは州ご



とに教育制度が異なりますが、小学校が4〜6年間、中学校が2〜3年間、高校が4年間というのが一般的です。個々の資質を伸ばすことを大切にしているので、飛び級も珍しいことではなく、私も小学生の時にスキップ<sup>※1</sup>しました。授業だけでなく、それぞれ得意なことに打ち込む自習時間も設けられています。家庭での子育てにおいても、子どもの自主性を大切にします。私も息子たちにも「こうしなさい」と指示することはあまりなく、コミュニケーションをたくさんとって、子どもの意見や考えを知ることと努めています。



エフレムさん: エチオピアでは、小学校から高校のトータルで12年間の教育を受けることができます。僕の場合は義務教育制度はなく、学校へ通い始めるタイミングは個々の事情によって異なってい

ます。私も息子たちにも「こうしなさい」と指示することはあまりなく、コミュニケーションをたくさんとって、子どもの意見や考えを知ることと努めています。

Q 最後にメッセージをお願いします。

アレンさん: 基本的には共学ですが、学生は女子よりも男子が多いかな。成績によってはその後大学へ行くことができ、僕は進学して会計を専攻していました。

アレンさん: 日本で暮らす中、日本人と海外出身の人が意思疎通することの難しさを実感する場面もあるので、双方の橋渡しをする存在になりたいと思っています。そのために、私なりの視点で日本を紹介する動画を制作して、国内外の人びとへ発信し、お互いを知るきっかけを作れたらいいなと思っています。

エフレムさん:

エチオピアは子どもが6人兄弟です。今は娘1人ですが、兄弟姉妹を作りたいと思っています。仕事に専念して子育てに大忙しの毎日ですが、これからも家族や仲間を大切にしていきたいです。

※1 飛び級することを英語で skip a grade という。  
※2 現在は、小学校4年生までは義務教育となっている。



イクメン

カジダン

# 投稿写真

イクジイ  
也大歓迎!



おたまじゃくし  
はるパパさん

公園の池で、小さな足の生えたおたまじゃくしを発見! 紙コップと枝でひしゃくを作り、捕まえました。



パパ、初めての  
だっこ紐  
しじみのパパさん

ママに似てるという票が多く、パパはちょっと寂しがってるみたいですが、たまーにパパのお友達からパパに似てるねって言われると嬉しいみたいです。



絵本大好き  
Y.A.さん

絵本の読み聞かせが大好きです。読んでほしい絵本を指さす姿はとても可愛いです。

応募規約

イクメン・カジダンの  
写真を募集しています!!



←区モバイルサイトへは QR コードを読み込んでアクセス  
※接続時にパケット通信料がかかる場合があります。

投稿先

suzukake@city.sumida.lg.jp

募集写真  
のテーマ

イクメン/カジダン/イクジイの写真(1年以内に撮影したもの)  
※応募者または、被写体が墨田区内に在住、在勤、在学の方  
※子育て、家事をしている男性(子どもがいない方でも可)

応募方法

作品の応募は電子投稿(Eメール)のみです。  
以下の内容を記載し、Eメールで応募してください。  
1) 写真のタイトル  
2) 応募者(撮影者)の名前(フルネーム、本名)  
3) ペンネーム(掲載する際に使用)  
※記載のない場合は、本名を掲載します。  
4) 写真についての50字以内のコメント  
5) 被写体との関係(本人/友人/夫など)  
6) 連絡先(住所、電話番号)

応募について

- メールの件名を、必ず「写真投稿」としてください。
- 写真のデータは2MB以内のJPEG形式をお願いします。
- 被写体1人につき1枚の応募とします。
- 応募1回につき添付する画像は1枚とします。
- 郵送による投稿は受け付けておりません。

注意事項

- 応募作品は、著作権や肖像権、プライバシーを侵害するおそれのないものに限ります。写真に写っている方に、必ず承諾を得てください。肖像権その他の権利は、応募者の責任において処理いただいた上で応募ください。
- 応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、応募者は区に対し無制限の使用権を許諾するものとします。(区の他事業等にも使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 応募が多数の場合は選定のうえ掲載させていただきます。
- 掲載枠の都合上、写真やタイトル、説明文等について、こちらで加筆・修正、トリミングをする場合があります。
- 本応募に起因して生じる損害に付き、区は一切責任を負わないものとします。

## 編集委員からひとこと

「ああ、今日も無事に一日が終わった!」そうつぶやいて眠りに落ちる、そんな忙しい時期を経験した覚えがある方も多いのでは…。女性が日頃家庭で担っているものは、“名もなき家事”を含めとても多いのです。今後、日本ではますます労働力不足が懸念され、さらなる女性の活躍が期待されています。

最近は、通勤姿の男性が乳幼児を送迎している姿をよく見かけます。若い世代から役割分担意識が変わりつつあるのですね。男女共に柔軟な働き方が選べ、ワンオペ育児、ダブル介護などという言葉が消えて、生活に希望が持てる社会の確立を願ってやみません。

(川嶋)

すずかけ編集委員会 「特集」p4～p7「こんにちはすみださん」p12担当

柿下・川嶋・木ノ内・五井・小池・佐藤・鈴木・緑川・横山(五十音順)

# すみだ女性センター 運営委員・協力委員を募集します。

すみだ女性センターでは、各委員の任期満了に伴い、  
新しい委員を募集します。

**対象** 墨田区在住・在勤・在学の方。(性別は問いません)  
**任期** 平成31年4月1日からの2年間です。  
**委員会** はいずれも平日の昼間の時間帯に開催されます。

## 運営委員会

すみだ女性センターの事業と運営に区民の考えが反映されるよう意見を出し、すみだ女性センターのあり方を考える、運営全般にかかわる委員会です。

**募集人数** (女性センターの運営に関心のある方) 4名  
**回数** 年3回程度  
(平日午前または午後の予定)

## すずかけひろば委員会

男女共同参画推進のため、実行委員会形式で年1回実施するすずかけひろば(講演・登録団体の発表など)、周年行事等の企画、実施を担当する委員会です。

**募集人数** (講演会等の実施に関心のある方) 10名  
**回数** 事業実施時期を中心に年7~8回程度  
(会議は平日午前、行事は9月の土曜日の予定)

## すずかけ講座委員会

男女共同参画推進のための講座、講習会の企画、実施を担当する委員会(年間1講座程度の企画・実施)です。

**募集人数** (講座の実施に関心のある方) 6名  
**回数** 事業実施時期を中心に年7~8回程度

## すずかけ編集委員会

男女共同参画情報誌“すずかけ”を、1年に2回作成、発行する委員会です。

**募集人数** (情報誌の編集に興味のある方) 10名  
**回数** 年間25回程度  
(火曜日午前の予定)

## 情報資料委員会

男女共同参画推進に関する情報の収集、図書を選定などを行う委員会です。

**募集人数** (男女共同参画関係の書籍や情報に関心のある方) 4名  
**回数** 年6回程度

応募方法等の詳細はすみだ女性センター(電話5608-1771)に直接お問い合わせください。

### 【募集期間】

平成30年12月3日~平成31年2月8日(必着)

※結果は、3月下旬ごろ応募者全員に通知します。

# 墨田区男女共同参画推進委員会のご紹介

平成30年4月に今期の墨田区男女共同参画推進委員の委嘱を行い、5月10日の「第1回墨田区男女共同参画推進委員会」において、会長及び副会長を決定いたしました。委員の任期は2年となっています。

墨田区  
男女共同参画  
推進委員会委員

**会長** 椎名 美恵子      **副会長** 山下 洋史  
**委員** 臼井 征子 宇都宮 義広 大島 真代 北村 嘉津美 小高 隆義 清水 豊  
下田 信二郎 庄司 道子 鈴木 ひろみ 武市 海里 廣田 栄子 渡 良夫 (委員氏名は50音順)

## 墨田区男女共同参画推進委員会って？

墨田区は「墨田区女性と男性の共同参画基本条例」を平成18年4月に施行しております。

この条例は、墨田区の男女共同参画社会の形成に関し、施策の基本的事項を定めることにより、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって男女共同参画社会を実現することを、目的としています。

「墨田区男女共同参画推進委員会」は、区長の附属機関であり、男女共同参画における重要事項について、区長の諮問に応じ、調査、審議及び答申を行ったり、男女共同参画施策の実施状況について調査、審議を行っています。

## 社会福祉会館からのお知らせ

### きねがわスタンプラリー 2018

地域の活性化を目的に「きねがわスタンプラリー」を社会福祉会館、都立皮革技術センター、産業・教育資料室きねがわの3施設合同のイベントとして開催します。また、地域の皮革関連・油脂関連組合と町会等にもご協力をいただいています。

ぜひ、ご家族やお友達と一緒に参加して楽しんでください。お一人でのご参加も大歓迎です。

**日時** 10月14日(日) 10:00～15:00  
**内容** 社会福祉会館、都立皮革技術センター、産業・教育資料室きねがわの各施設で行われるイベントに参加し、スタンプを集めた方へ素敵な記念品をプレゼントします。  
**対象** どなたでも

### 人権講演会

人権週間(12月4～10日)に合わせ、それぞれが生まれながら持っている幸福になれる権利(人権)について考える人権講演会を開催します。

ぜひ、登壇される講師とともに、人権について考えてみませんか。

**日時** 12月8日(土) 13:15～15:00  
**内容** 人権についての講演  
**対象** どなたでも

お問い合わせ

墨田区社会福祉会館 東墨田2-7-1  
TEL 03-3619-1051

墨田区男女共同参画推進拠点施設

## すみだ女性センター～すずかけ～

### 【開館時間】

月曜日～土曜日 午前9時～午後9時  
日曜日・祝日 午前9時～午後5時  
〒131-0045 東京都墨田区押上二丁目12番7号  
セトル中之郷内受付2階

Tel: 03-5608-1771 Fax: 03-5608-1770

### 【電車の場合】

京成線(都営浅草線)・半蔵門線  
「押上駅」下車A3出口徒歩5分  
東武スカイツリーライン  
「とうきょうスカイツリー駅」下車  
徒歩10分



### 【バスの場合】

都バス(錦40)南千住東口駅ー  
錦糸町駅  
「向島三丁目」バス停前徒歩1分  
墨田区内循環バス(北西部ルート)  
「女性センター」バス停前下車  
徒歩1分



こんにちは  
すみださん

すぎやま あいこ  
杉山 藍子 さん

フウガドールすみだレディース

すみだの地から  
めざせ 日本一！



フットサルチーム「フウガドールすみだ」にレディースチームがあることは全く知りませんでした。ところが、5月にタイで行われた※AFC女子フットサル選手権（準優勝）に日本代表選手として三人も選抜されているチームと知りびっくり。タイから戻られて間もない日本代表のゴールキーパー杉山さんにお話を伺いました。

※アジアサッカー連盟

「フウガドールすみだレディース」に移籍して4年目に入りました。台東区育ちですが、母の実家が墨田区なので、小さい頃は今のスカイツリーの辺りでよく遊んでいました。人と人との距離が近く、人情味あるところが大好きです。

小学生のとき兄と一緒にサッカーをはじめ、高校、体育大学とずっとサッカー選手として活動していました。大学卒業後フットサルに転向し、アマチュア選手として仕事と競技を両立させながら、日本代表定

着と「フウガドールすみだレディース」の日本一をめざしています。フットサルはサッカーに比べて、コートが狭い分、パスやシュートの回数が多く、緊張感があるところが魅力です。仕事は、子どもたちへのサッカー指導をしています。仕事の後に週2日、夜の9時から11時までチームの練習があります。練習しない日はないですね。オフの日には筋トレです。暇な時間があってもどうしたらいいか分からないです(笑)。

メンバーは年齢も15歳から35歳と幅広いですし、職業も様々です。保育士や新聞記者の人もいます。埼玉から2時間半かけて通い、帰宅が深夜2時という人もいます。試合などで仕事を休まなければならぬときもあるので職場の理解が必須です。

去年、ホームグラウンドの「すみだフットサルアリーナ」(横川)ができ

て落ち着きましたが、それまではなかなか練習場がとれず、都内や近郊の体育館などを転々として練習していました。

また、墨田区の催しに参加させて頂いたり、フットサルの普及活動にも励んでいます。その結果、認知度は着実に上がってきていると思います。墨田区から女子フットサルを盛り上げていきたいです。ぜひ試合を見に来てください。

自転車で颯爽と現れ、目を輝かせてフットサルの魅力を語る杉山さんからは、真摯で熱い思いが伝わってきました。

(木ノ内)



AFC女子フットサル選手権タイ2018フットサル日本女子代表選手(左・勝俣聖穂選手 中央・杉山藍子選手 右・竹村純子選手)